

令和3年度 阿久根市まちづくりビジョン等施策検証委員会

開催日時 令和3年8月27日(金) 13時30分～15時30分
開催場所 風テラスあくね交流室1・2
出席者 委員12人, アドバイザー1人
矢櫃 学, 佐冨 芳藏, 栢 壽一, 松崎 裕介, 千代森 修一,
西園 敦子, 増永 泰久, 宝地 義彦, 川原 修一, 西田 幸作,
高村 和恵, 中村 壯, 中村 素子

- 議 題
- (1) 概要及び人口の状況について
 - (2) 基本目標1～3に関する事業等の状況について
 - (3) 基本目標4～6に関する事業等の状況について

意見概要

1. 事業の取組について

政策を進める上で、市民から見た分かりやすさという意味においても、個別事業に展開する際に、これは稼ぐ力を向上するような事業だとはっきりさせるとともに、そういう意識を持って市役所の職員にも仕事をしていただきたい。

また、市民に対してはそういう取組をしている、だから市民にも頑張ってもらいたいというような相互効果を意識として定着させて進めていただきたい。

2. 総合戦略の目標達成について

県政は稼ぐ力の向上に向けて各政策を進めている。市の事業だけでなく、国や政府の事業も活用しながら、総合戦略の目標実現に向けて進めていただきたい。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響について

今後、新型コロナウイルス感染症の影響がどの部分にどの程度あるのか、各課で評価し、検証をする必要がある。

4. 地元人材活用について

今年度も9月から就職試験が始まり、鶴翔高校の3年生は就職希望が6割から7割程度で、進学が3割となっている。

その就職希望者のうち、6割から7割が地元就職を希望しており、地元志向が強まっていると感じる。地元企業がもっとあればもっと地元に残りたいと思う生徒が増えてくると考える。

5. 地元企業への就業等について

県は地元企業への就職を勧めており、令和2年度に北薩地域内の企業を紹介する企業ガイドブックや移住者向けの移住ガイドブックを作成したので、市の関係課で活用いただきたい。

また、令和3年度新たに、北薩地域へU I Jターンする方々に地域で就職していただきたいことから、企業が県外で開催される企業説明会、あるいはWEBでの説明会の出展料等を補助する「U I Jターン就労促進支援事業補助金」を創設したので、活用を促し、地元就職に繋げてもらいたい。

6. 水産物水揚量について

獲れても高い値段で売れなければ、生産者、市民に還元されず、稼ぐ力、産業振興に繋がらないのではないかと。それに付随する水産物の流通対策事業をしっかりと推進することが必要である。売上高の増加に結び付く施策をしていただきたい。量に関しては、目標に近づいているので、なるべく高く売れるような取組をしていただきたい。

7. 観光の振興について

コロナ収束後を見据え、今の時期に受け入れの準備を進めておくことが一つの手だと思うが、市内を見回しても外国語の表記が無く、店舗のメニューが外国語にもなっておらず、外国語を話す人も少ない。アフターコロナに向けてどのような準備になっているのか。その方々がこの街に入り、食事をするときちゃんと注文できるのか、しっかりと取組を広げていただきたい。

8. 新商品開発事業者数について

広報に関して色々な媒体で行っているが、事業自体を知らない人が散見されるため、市職員一人ひとりが広報マンになって更なる周知に努めていただきたい。

9. 観光の振興について

ワーケーション等が話題になっており、Wi-Fiがある地域の方が観光客も来やすいと考えるので、整備を検討していただきたい。

10. 市内犯罪率について

交通事故が発生した場合、防犯カメラを探したり、確認することもあり、市内の犯罪抑制にも繋がるのではないかとと思うので、防犯カメラ設置の検討をしていただきたい。

1 1. ふるさと景観整備事業について

国道3号沿線の樹木伐採事業は、市民の方々からの評価が高いので引き続き対応していただきたい。

1 2. 消防団員充足率について

若い人が減り、団員の確保が難しくなっている。人材確保については手当がしっかりされていることが前提だと思うので検討していただきたい。

1 3. 女性委員登用率について

女性の目線を整えてこそ本当の安心、安全な阿久根市が実現できる。協議会の委員については積極的な女性の登用をお願いしたい。

1 4. 空き家対策について

不動産や建築業者から、今は新築ではなく古民家をリフォームすることも多いと聞いている。業者がそのようなオーダーを受けても、物件がなかなか見つからないので、情報共有を行い、その後の事業展開に繋げていただきたい。